



～安心を未来へ～

2011年4月7日発行 4月号 No. 194

\*\*\*\*\*

◇「青年部、女性部、ロジ研、三組織の皆様へ」(3/15通知)

(社) 東京都トラック協会 三組織担当副会長 竹内 政司

◇「安全フォーラムV」

研修委員長 渋谷 隆義〔千代田支部 (株)ユニコム〕

東日本大震災は、時間の経過と共にその規模の大きさと被害の甚大さが明らかになりつつあります。東ト協では災害発生時、東京消防庁並びに東京都財務局より、被災者救援と帰宅困難者のための救援物資輸送に対する協力要請を受け、同日、星野会長を本部長とする東ト協緊急輸送対策本部を設置しました。

以来、星野会長陣頭指揮のもと、綿引専務をはじめ協会役職員一丸となって協会にとどまり、休日も返上し、不眠不休の対応をしてきました。

帰宅困難者への緊急輸送対応は、災害発生当日、三組織の皆さんの協力もあり、東ト協葛西緊急物資輸送基地より20台の車両により、都内23箇所の避難場所に毛布約2万5千枚の輸送業務を完了しました。

星野会長は、各県ト協との協力と東京の対応が被災地の方々を救う、との強い思いと東ト協の対応の重要性から、連日、全日本トラック協会との調整に奔走され、その思いと熱意に胸を打たれるところです。

私たち三組織のメンバーも、星野会長と心をつにし、今後も被災地等への緊急物資輸送が想定されますが、全員、一致協力し、「ライフラインを守る」という使命をもって、災害にあわれた方々へ、物資と共に、その思いを届けていきたいと思ひます。

燃料不足の折、事業も大変厳しい状況ではありますが、協会ではすでに政府に対し備蓄燃料の一時取り崩しにより、公益的観点から営業用トラックへの優先的措置を講じるよう要請したところです。

三組織の皆さんも何としてもここは踏ん張り、被災地への方々の思い、是非とも今後の協会の活動に、ご協力をお願い致します。

◇「ご協力頂きました皆様へ」

青年部本部長 佐久間 恒好〔練馬支部 商運サービス(株)〕

地震発生直後から、「助けてあげたい」という電話やメールが全国から沢山飛び込んできました。全国の「絆」と「想い」をひとつにしよう…、そう決断し「全国物流青年経営者中央研修会」のもと9名のブロック代表で繋がっている全国組織に対し義援金の呼びかけを行いました。

そんな矢先、東北ブロック代表の方から「物資が足りず、生き延びることが出来るはずの命が絶たれている」と悲鳴の電話が…。各ブロック代表と協議し政府の手が回らない非指定避難場所を中心に、連絡が取れた三ヶ所の老人養護施設に避難されている計1,500人以上の方々に対し、義援金の一部を利用し衣類(津波で濡れたままでした)や食料などを中心に調達、更に提供頂いた物資も加え、大型車2台・4t車1台をそれぞれの場所へと送り込みました。

手を差し伸べれば救える命を目の前にして、難しい議論は必要ないと思ひます。大震災発生後初期の段階において、我々物流業としての使命を社会的に果たすと同時に、「心」と「想い」で救えた命があったことを重ねてご報告させていただきます。

ロジ研、女性部の皆様をはじめ、多くの部員の皆様よりご協力を賜りましたことを、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

本件、当初から支えて下さった竹内本部長をはじめ、東ト協教育研修部の皆様、関係各部署の皆様方にも心より御礼申し上げます。

現在進行形で進めております関係上、正式な報告は改めてお知らせさせていただきます。

青年部は、全国のネットワークとフットワークの良さが最大の武器です。適材適所、業界の為にできることを考えながら、三組織で足並みを揃え、星野会長を中心とした東ト協のワンピースとしてこれからも貢献して参ります。

多々不行き届きなこともありご迷惑をお掛け致しましたが、「救えた命」に免じてお許し頂ければ幸いです。

東ト協ロジスティクス研究会は本年度の年間統一テーマ「安心を未来へ」の元、2回の研修会を開催してまいりましたが、その為には「トラック運送事業を取り巻く環境」を各方面の視点からもう一度検証し、効果的で効率的な対策を検討する為、最後の取りまとめとして東ト協総合会館に於いて3月8日にフォーラムVを開催しました。当日は15時という早い開始時間にもかかわらず7階大会議室に87名の皆様に集まっていただき、パネルディスカッション形式で行いました。コーディネーターに流通経済大学の野尻俊明教授、パネリストに慶應義塾大学大学院の岸博幸教授、芝浦工業大学の春日伸予教授、国土交通省関東運輸局の小林豊自動車交通部長、物流ジャーナリストの森田富士夫氏、そして業界代表として大島弥一ロジ研研修副委員長に各々の立場から政治、経済、安全、環境、行政、経営基盤等諸問題を論じていただきました。短時間で話し難い部分もあったと思ひますが、密度の濃い内容の有意義な研修会でした。



フォーラム終了後は先生方も交えて4階会場で交流会を催し、実りのある一日となりました。

平成23年度もこのフォーラムVをふまえ魅力のあるロジ研研修会を開催していく予定なので、今後ともロジ研会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

青年組織のスペシャル横断幕



◇スケジュール○はロジ研

4/21(木) 13:30 東ト協理事会 (東ト総合会館)  
15:00 三組織連絡会 (東ト総合会館 6小)

○ 5/20(金) 16:00 正副本部長会議  
○ 17:30 幹事会

5/23(月) 東ト協総会 (帝国ホテル)

○ 6/9(木) 東ト協ロジ研総会 (東ト総合会館)  
6/13(月) 東ト協青年部総会 (東ト総合会館)  
6/16(木) 東ト協女性部総会 (東ト総合会館)